

様式 5

補助金・交付金チェックシート (No.1)

補助金名 (交付金名)	函館大洋倶楽部運営補助金	開始 年 度	昭和29年度
団 体 名	函館大洋倶楽部		
助成の根拠既定等 (条例・規則・要綱等)	・函館市補助金等交付規則		

○補助事業の内容および目的・効果

内 容	「函館大洋倶楽部」は、明治40年に創立した日本最古のクラブチームであり、道南唯一の社会人野球チームとして、日本野球連盟主催の各大会に参加するなどの活動をしている。
目 的	(目 的) 日本最古の歴史と伝統を有し、市民の誇りである社会人野球チーム「函館大洋倶楽部」の活動を支援することにより、社会人野球の健全なる普及・発展を図る。
・ 効 果	(効 果) 「函館大洋倶楽部」の活躍は、青少年に夢と希望を与えるなど、野球をはじめとする体育・スポーツの発展に寄与している。

○補助事業の収支状況

(単位：千円)

	年 度	助 成 金		事業収入	会 費	繰越金	雑収入	計
		市	その他					
収 入	26	900			1,180	7	0	2,087
	27	900			1,295	16	0	2,211
	28	900	0	390	1,068	3	0	2,361
	29	900	0		1,252	0	0	2,152
	30	900	0		1,193	0	0	2,093
支 出	年 度	事務費	事業費	上部団体 負担金等				計
	26	602	1,083	386				2,071
	27	806	1,047	358				2,211
	28	393	1,532	436				2,361
	29	515	1,208	429				2,152
	30	477	1,171	445				2,093

補助金・交付金チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	函館市太洋倶楽部運営補助金
----------------	---------------

○基本的視点の再チェック

基本的視点		適	不適	説明
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	☒ ☒ ☒	☐ ☐ ☐	明治40年創設の日本最古のクラブチームであり、都市対抗野球大会では、戦前戦後を通じ、北海道代表として輝かしい成績を収めている団体である。当倶楽部の活躍は市民の誇りであり、青少年に夢と希望を与えるなど、本市のスポーツの発展に大きく寄与していることから公益性が認められる。
2	必要性 (補助しなければならない事業であるか)	☒	☐	アマチュアクラブチームとして、一定のレベルでの活動を維持するためには助成は必要である。
3	自主性 (自主自立に向け努力しているか)	☐	☒	運営経費の節減に努めるとともに、後援会を組織し賛助金を集めているが、補助金なしではクラブを維持することは困難である。
4	有効性 (他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	☒	☐	団体の性質上、市が直接運営できないことから、現在の方法が最適である。

※適・不適であっても、説明欄は必ず記載してください。

○財政的視点のチェック

財政的視点		不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	☐	
2	補助金等の使途は適切である	☐	
3	積算基準は定められている	☒	積算基準は定めていないことから、事業内容や収支状況を精査するなかで、団体運営に支障を来さない範囲を見極め、適正な補助金額の設定について検討する。
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	☐	
5	前年度繰越金は生じていないか	☐	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	☒	賛助金については、団体以外の個人会員からの会費増を目標に、依頼活動を継続中である。
7	経常経費の節減に努めているか	☐	

※不適の場合は、説明欄に必ず記載してください。

補助金・交付金チェックシート (No.3)

補助金名 (交付金名)	函館市大洋倶楽部運営補助金
----------------	---------------

○補助効果の検証

(効果測定方法, 具体的な数値等)

実績報告により, 事業内容が補助の目的・趣旨に合致しているか確認し, 効果を測定する。

(達成状況)

平成30年度各種大会出場実績

都市対抗野球大会北海道地区予選, 全日本クラブ選手権北海道予選, 北海道地区クラブ選手権大会, 北海道・東北交流クラブカップ大会

倶楽部として, 北海道内で開催される主要な大会に参加しており, 優勝した場合には全国大会の出場が義務付けられている。

※継続事業は, 直近の実績 新規事業は, 効果のみ記載してください。

(評価)

- 十分効果をあげている ☒
- 一定の効果をあげている ☐
- 効果が疑問である ☐
- その他 ☐

(理由)

野球を通じた青少年の健全な育成など, 本市のスポーツ振興にとって有益なものである。

また, 市内における少年野球教室開催での指導など競技普及のための事業実施に取り組んでいる。

○今後の方向性

- ☐ 現行のまま補助を継続
- ☒ 見直したうえで補助を継続
- ☐ 廃止
- ☐ その他

(見直しの内容)

補助金交付先団体の収支状況を適時確認し, 補助対象経費の見直しを図るなど, 適正な補助金額の設定について検討する。

(見直しの時期)

(廃止の理由)

(廃止の時期)

(その他の内容)

○終期の設定

終期設定	☐	終期到来により廃止	次回チェック年度(予定)
令和3年度	☒	終期到来時に再検討	令和3年度